2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社中央製作所	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	6846	URL	https://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	後藤　邦之
問合せ先責任者	（役職名） 総務部長	（氏名）	服部　光生　　TEL　052-821-6166
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,135	18.1	101	―	107	880.3	95	99.0
2026年３月期中間期	1,807	△6.5	7	△84.7	10	△78.9	48	△38.7

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	124.09	―
2026年３月期中間期	62.36	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	5,047	2,670	52.9
2026年３月期	5,293	2,549	48.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,670百万円　　2026年３月期　2,549百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0.00	―	40.00	40.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	55.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無
2027年３月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 創立90周年記念配当20円00銭

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	4,300	7.1	150	14.8	150	8.7	170	△15.5	220.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	784,300株	2026年３月期	784,300株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	11,767株	2026年３月期	11,701株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	772,575株	2026年３月期中間期	772,677株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュフロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
３．その他 …… 8
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費や設備投資、輸出に持ち直しの動きがみられ、緩やかに回復しました。一方、中東情勢や自然災害の影響、物価上昇、金融市場の変動には注意を要する状況でした。

このような経済環境のもと、当社は積極的な営業活動を展開するとともに、部材や購入品などのコスト上昇分を適切に販売価格へ反映する取り組みを進めました。また、部材調達および工程進捗の管理を徹底しました。その結果、当中間会計期間の受注高は2,565百万円（前年同期比64.2%増）、売上高は2,135百万円（前年同期比18.1%増）となりました。損益については、営業利益101百万円（前年同期は営業利益７百万円）、経常利益107百万円（前年同期比880.3%増）、中間純利益95百万円（前年同期比99.0%増）となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申しあげます。

（電源機器）

電源機器につきましては、電池業界、電子部品業界および自動車関連業界などを中心に、多様なニーズに対応し、受注の確保に努めました。その結果、受注高は1,105百万円（前年同期比58.3%増）となりました。一方、売上高は698百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

今後は、カーボンニュートラルの実現に寄与するインバータ方式の電源や小型電源の更なる改良を進めるとともに、汎用型電源の拡販に注力し、受注・売上高の確保に努めてまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、半導体関連業界などを中心に、新設・更新需要および既存装置の改修需要への対応に注力しました。その結果、受注高は763百万円（前年同期比67.7%増）、売上高は975百万円（前年同期比79.8%増）となりました。

今後は、新規案件の受注確保に加え、DXに対応した予防保全システム「CCCS-M」の提案や、既存装置の改修需要の掘り起こしに注力し、受注・売上高の確保に努めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機につきましては、自動車関連業界を中心に、新規・更新需要の掘り起こしに注力しました。その結果、受注高は409百万円（前年同期比49.7%増）、売上高は320百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

今後は、市場投入を開始した新型コンデンサ式溶接機の拡販を中心に、更なる受注・売上高の確保に努めてまいります。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて9.7%減少し3,244百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が143百万円、現金及び預金が70百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて6.1%増加し1,803百万円となりました。これは、主として投資その他資産が131百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4.6%減少し5,047百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて17.6%減少し1,781百万円となりました。これは、主として契約負債が211百万円、短期借入金が100百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて2.3%増加し596百万円となりました。これは、主としてその他に含まれる繰延税金負債が32百万円増加した一方、長期借入金が18百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて13.4%減少し2,377百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて4.8%増加し2,670百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首時点に比べて70百万円減少し884百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金の増加は86百万円（前中間会計期間は支出465百万円）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額199百万円、税引前中間純利益123百万円であり、支出の主な内訳は、契約負債の減少額211百万円、仕入債務の減少額118百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金の減少は６百万円（前中間会計期間は支出438百万円）となりました。

収入の主な内訳は、保険積立金の解約による収入123百万円であり、支出の主な内訳は、保険積立金の積立による支出120百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金の減少は149百万円（前中間会計期間は収入370百万円）となりました。

支出の主な内訳は、短期借入金の減少額100百万円、配当金の支払額30百万円などであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

記載の業績予想数値につきましては、2026年５月14日に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,901	884,791
受取手形及び売掛金	725,324	581,345
電子記録債権	527,070	471,733
商品及び製品	100,292	70,917
仕掛品	937,010	957,663
原材料及び貯蔵品	129,105	143,305
その他	221,705	136,448
貸倒引当金	△1,900	△1,700
流動資産合計	3,593,510	3,244,506
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	725,248	706,344
その他（純額）	215,102	203,744
有形固定資産合計	940,350	910,089
無形固定資産	9,544	11,470
投資その他の資産		
その他	751,043	882,369
貸倒引当金	△687	△687
投資その他の資産合計	750,356	881,682
固定資産合計	1,700,251	1,803,242
資産合計	5,293,761	5,047,748
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	229,385	131,818
電子記録債務	187,836	167,075
短期借入金	840,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	37,504	37,504
未払法人税等	－	30,308
契約負債	551,636	339,843
製品保証引当金	32,850	17,586
その他	282,574	316,891
流動負債合計	2,161,787	1,781,027
固定負債		
長期借入金	243,744	224,992
退職給付引当金	196,831	196,777
その他	142,028	174,458
固定負債合計	582,603	596,228
負債合計	2,744,390	2,377,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,645,255	1,710,218
自己株式	△17,198	△17,286
株主資本合計	2,356,642	2,421,517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	192,728	248,975
評価・換算差額等合計	192,728	248,975
純資産合計	2,549,370	2,670,492
負債純資産合計	5,293,761	5,047,748

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,807,803	2,135,535
売上原価	1,328,627	1,576,978
売上総利益	479,175	558,557
販売費及び一般管理費	472,108	456,592
営業利益	7,066	101,965
営業外収益		
受取利息	52	32
受取配当金	6,493	7,640
スクラップ売却益	1,697	3,456
その他	833	3,805
営業外収益合計	9,076	14,935
営業外費用		
支払利息	5,196	9,597
その他	0	0
営業外費用合計	5,196	9,598
経常利益	10,946	107,302
特別利益		
投資有価証券売却益	51,238	－
保険解約返戻金	－	15,971
特別利益合計	51,238	15,971
特別損失		
固定資産処分損	3,183	0
特別損失合計	3,183	0
税引前中間純利益	59,001	123,273
法人税、住民税及び事業税	939	20,838
法人税等調整額	9,878	6,567
法人税等合計	10,817	27,406
中間純利益	48,183	95,867

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	59,001	123,273
減価償却費	39,235	33,811
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,523	△200
退職給付引当金の増減額（△は減少）	83	△54
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△4,838	△15,264
前払年金費用の増減額（△は増加）	△31,363	△37,441
受取利息及び受取配当金	△6,545	△7,672
保険解約返戻金	－	△15,971
支払利息	5,196	9,597
固定資産処分損益（△は益）	3,183	0
投資有価証券売却損益（△は益）	△51,238	－
売上債権の増減額（△は増加）	△126,770	199,316
棚卸資産の増減額（△は増加）	169,913	△5,478
仕入債務の増減額（△は減少）	△202,971	△118,328
契約負債の増減額（△は減少）	10,080	△211,793
その他	△281,083	119,866
小計	△423,640	73,661
利息及び配当金の受取額	6,545	7,672
利息の支払額	△6,445	△9,710
法人税等の支払額	△41,886	△989
法人税等の還付額	－	15,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	△465,427	86,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△493,674	△1,700
無形固定資産の取得による支出	△390	△7,120
投資有価証券の取得による支出	△177	△187
投資有価証券の売却による収入	56,730	－
保険積立金の積立による支出	－	△120,000
保険積立金の解約による収入	－	123,888
その他	△533	△1,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,045	△6,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	300,000	－
長期借入金の返済による支出	－	△18,752
配当金の支払額	△29,830	△30,679
その他	△121	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,047	△149,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△533,424	△70,109
現金及び現金同等物の期首残高	1,366,109	954,901
現金及び現金同等物の中間期末残高	832,684	884,791

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

３．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当中間会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	827,991	53.9
表面処理装置	908,154	56.9
電気溶接機	233,401	△23.0
その他	138,359	△33.8
合計	2,107,906	29.4

（注）金額は、販売価格によっております。

②受注実績

当中間会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	1,105,706	58.3	1,220,609	81.3
表面処理装置	763,109	67.7	1,474,845	21.7
電気溶接機	409,674	49.7	399,336	84.4
その他	286,540	113.0	398,385	75.0
合計	2,565,030	64.2	3,493,177	50.0

③販売実績

当中間会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	698,549	△20.0
表面処理装置	975,694	79.8
電気溶接機	320,800	28.3
その他	140,491	△0.8
合計	2,135,535	18.1